

あなたと議会をむすぶ

ぎかい広報誌



私たちの

しょうわ 町議会

2005

No

126

7月27日号

都市公園事業がスタート！



(押原地内)

● 6月定例議会

発行 / 山梨県昭和町議会
〒409-3880 山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2
TEL. 055-275-2111 FAX. 055-275-2109
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>

発行人 / 議長 石原重夫
編集 / 議会広報編集特別委員会

新しい議会構成スタート！
石原重夫議長のあいさつ 2～3ページ

こういうことが決まりました 4～6ページ

委員会レポート 7ページ

3議員が一般質問 8～11ページ

議会のうごき 12ページ

議会がスタート!

第二回臨時議会が、五月十日から十二日の三日間にわたって開かれました。

この臨時会は、議員請求に基づいて招集され開催されました。十日には議長に石原重夫議員、副議長に井口孝裕議員を選任しました。

また、平成十六年度昭和町一般会計補正予算(第六号)の専決処分報告を承認しました。
各常任委員会、議会運営委員会の任期は二年となっており、五月九日任期満了となったため、今回改選され新しい構成メンバーで十二日にスタートしました。

議長就任あいさつ



開かれた議会をめざして

議長 石原重夫

ります。

行政の審査と政策課題の解決に向け、誠心誠意努力してまいる所存です。

私は、五月の臨時議会において、議員各位のご推薦をいただき議長に就任いたしました。身に余る光栄なことであり、重責を痛感しております。

さて、地方自治体は、国の三位一体の改革により、極めて厳しい環境の下で、住民サービスの向上等課題が山積しております。議会といたしましては、住民の代表者であることを深く認識してお

副議長就任あいさつ



副議長 井口孝裕

この度、五月の臨時議会において、議員各位のご推挙をいただき副議長に就任いたしました。私にとりまして身に余る光栄であり、責任の重

大さを痛感しております。昭和町は、当面単町で進みますが、国を挙げての構造改革と地方分権の進む中、地域の特色を生かし活力ある町づくりを進めるため、行政の果たす役割が一層重要になりました。

私は、町民の皆様と

情報交換をし、皆様のご意見を真摯に受け止め、町政に反映させるべく公平、公正なわかりやすい議会運営を進めてまいります。今後ともご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。



● 審議日程 ●

第一日目

五月十日(火)

議員協議会

▼開会

・本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸報告

・議案の上げ、質疑、

討論、採決

第二日目

五月十一日(水)

休会

第三日目

五月十二日(木)

議会運営委員会

議員協議会

・本会議

・追加議案審議

・諸報告

▼閉会

五月十日、第二回臨時議会の本会議の席上、五味政議長から自治功労者表彰の伝達が行われました。この伝達は、山梨県町村議長の議員十年以上在職者に贈られるものです。



井上議員に
自治功労者表彰

新しい町

第2回臨時議会

昭和町議会の新しい構成です

委員長 ○ 副委員長

議 長	石原 重夫	副議長	井口 孝裕	議会選出 監査委員	塚原 博明
総務常任委員会	鷹野 一雄 五味 政	○長谷川幸廣 深澤 平助	石原 重夫	角野 幹男	
産業土木常任委員会	志村 茂 萩原 馨	○河西 忠則 河田あけみ	塚原 博明		
教育厚生常任委員会	三井 猛 山田 昇	○井上 仲千 井口 孝裕	浅川 武男		
議会運営委員会	五味 政 井口 孝裕	○鷹野 一雄 志村 茂	三井 猛	河田あけみ	井上 仲千
水源対策特別委員会	河田あけみ 議員全員	○角野 幹男			
地方分権対策特別委員会	井上 仲千 議員全員	○浅川 武男			
議会広報編集特別委員会	井口 孝裕 井上 仲千	○鷹野 一雄 河田あけみ	志村 茂	三井 猛	
消防委員会	石原 重夫	長谷川幸廣	鷹野 一雄	萩原 馨	
組合議員	甲府地区広域行政事務組合議会議員		石原 重夫	井上 仲千	
	中巨摩地区広域事務組合議会議員		井口 孝裕	河田あけみ	
	三郡衛生組合議会議員		長谷川幸廣	萩原 馨	

議会推薦の

農業委員三人を選任

昭和町農業委員の任期が平成十七年五月十六日をもって任期満了となり、議会推薦による新委員三人を第二回臨時議会（五月十二日）において選任しました。
新しく委員となった方々は、次のとおりです。



飯 喰 馨
小澤



押 越 忠明
山田



清水新居
渡辺 一豊

▼その他の議案

専決処分の承認を求める件

（一件）

○平成十六年度昭和町一般会計補正予算（第六号）

こういう
ことが
ました

一般会計補正予算 6億1,965万円

平成十七年六月定例会は、六月十三日から十七日までの会期を五日間として開かれました。
今年度の一般会計補正予算一案件、条例改正二案件が提出され、いずれも原案どおり賛成多数で可決しました。

最終日には、固定資産評価審査委員の選任に同意を求める人事案件一件と、議員提案による、「義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上に関する意見書」、「分権時代の新しい地方議会制度の構築を求める意見書」が追加提案されました。いずれも同意、可決しました。
介護保険制度の見直しの改正にあたり「改善」を求める請願書は、継続審査となりました。
一般質問には、三人の議員が当面する重要な町政の諸問題について、活発な議論を展開しました。

今回の補正は、当初予算直後であり、本来ならば補正予算の必要はないところですが、国・県の補助事業の内示が得られた事業を中心に編成しました。

国の補助事業が内定した、都市公園事業費、消防小型ポンプ積載車購入費をはじめ、住宅建築費、小中学校の安全管理対策などの早急に対応が必要な経費を計上し、補正額六億一、九六五万八千円を追加し、歳入歳出の総額を六三億五、九六五万

八千円とするもので、全会一致で可決しました。



勢ぞろい・消防小型ポンプ積載車

歳入 財源

都市公園事業費補助金一億九、三〇〇万円、消防設備整備費補助金九一四万九千円、木造住宅耐震化事業補助金六〇万円と財政調整基金の取り崩しによる繰り入れと、町債では国の補助事業の内示に伴う都市公園整備事業債の借り入れを計上しました。

歳出 使いみち

主な内訳は、企画行政費では、拡声器設置補助金一五〇万円、都市計画

費では、木造住宅耐震化事業補助金一、二〇〇万円、都市公園測量設計委託料一、八一五万一千円、公園用地購入費五億七、九〇〇万円、町営住宅移転補償料三九〇万円。
消防費では、消防小型ポンプ積載車購入費九一五万円。
教育費では、小学校費で不審者侵入対策一斉通報システム構築のための改修費、救急用自動対外式除細動器の借上料等。
中学校費では、給食用りフットの修繕費、社会教育費の図書館運営費、保健

体育費の体育館運営費・釜無公園管理費では、それぞれ緊急に対応する経費が計上されました。

条例改正

●昭和町税条例
地方税法等の一部を改正する必要が生じ、賛成多数（賛成十四人・反対一人）で可決されました。

●昭和町監査委員条例
本年五月一日から監査基準の内規を設置したため一部を改正する必要が生じ、全会一致で可決されました。

固定資産評価 審査委員に

畑野 泰六氏



現委員の畑野泰六氏の任期が平成十七年六月三十日で任期満了になりますので、新たに畑野泰六氏の選任を提案し、議会はこれに同意しました。

五味前議長に 山梨県町村議会議長会 退職役員感謝状



五味 政 議員

議会議長会退職役員感謝状の伝達を行ないました。

この伝達は、山梨県町村議会議長会役員として町村の運営と町村自治の振興、発展に特に顕著な功績があった議員に贈られるものです。

六月十三日、第二回定例会の本会議の席上、石原重夫議長から五味政前議長に山梨県町村

21世紀の 新しい地方の議会像を求めて...

6月
定例議会で
決まり



真剣に審査を重ねる委員

意見書2件を国に提出

分権時代の新しい地方議会制度の
構築を求める意見書

五味政議員から所定の賛成議員とともに提出され、本会議において全会一致で採択され、関係大臣あて提出しました。

平成十一年の地方分権一括法の成立により、地方公共団体の自己決定権

と自己責任はますます大きくなり、地方議会の権限も飛躍的に拡大した。

地方議会は、今まで以上に行政執行へのチェック機能を向上させ、分権時代に期待される議会の役割を果たしていかなければならない。

現行の地方議会制度は、議会の招集権が長にあること、付再議権の行使が長の認定に委ねられていること、「議会を招集する暇がない」を理由に条例や予算が専決処分されるなど、二元代表制を採用しながらも、長と議会の機能バランスを欠き、議会本来の機能が発揮されていない。

よって、国においては下記の事項につき、所要の措置を早急に講じ、分権時代に対応した新たな地方議会制度を構築されるよう、強く要請する。

記

一、議員定数の自主選択
議員定数は議会本来の機能が十分発揮できるよう、「上限値」の撤廃を含め、地域の実情に応じた地方公共団体が自主的に決定できるようにすること。

二、議会の機能強化
(1)立法的功能の強化
町村の基本計画は、その重要性からみて、議決事件として追加すること。

法定受託事務について
も条例制定権が及ぶとされていることから、地方自治法の法定受託事務の除外規定を削除すること。

(2)財政的功能の強化
予算のうち議会費は、議会側の提案を尊重することを義務付ける制度を検討すること。

百条調査権行使に必要な緊急の費用など、議会独自の需要への長の予算措置義務を制度化すること。
予算の議決対象は、款・項に加えて目まで拡大すること。

(3)行政監督機能の強化
自治体が設立した公社及び出資法人等に対し、議会が直接関与できるようにすること。

監査委員は、その独立性を確保するため、長の任命ではなく議会で選任するようにすること。

三、議会と長の関係
(1)不信任と解散制度の見直し。
不信任の対抗措置として議会を解散できる長の権限の見直しを行うこと。

地方自治法第一七八条の長の不信任議決の要件を過半数あるいは三分の二まで引き下げること。

(2)議会招集権の議長への付与
議会の招集権が長にあるのは不合理であり、地方議会の招集権は定例会・臨時会を問わず、すべて議長に移すこと。

(3)長の付再議権の見直し
付再議権の行使は、長の一方的認定に委ねるのではなく、客観的基準によること。

一般的付再議権は、特別多数議決ではなく、過半数議決に改めること。

(4)専決処分の要件の見直し
専決処分の場合、「招集する暇なし」の理由は、乱用などの課題があるため削除すること。

四、議会の組織と運営の弾力化
(1)常任委員会の就任制限の撤廃
常任委員会の一人一委員会の制約を外すこと。

(2)全員協議会の位置づけ
全員協議会も公式の場に準ずる措置を検討すること。

以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

平成十七年六月十七日
昭和町議会議長

提出先
衆議院議長 河野洋平殿
参議院議長 扇 千景殿
内閣総理大臣

小泉純一郎殿
総務大臣 麻生太郎殿



意見書

義務教育費国庫負担制度を堅持し、
教育の機会均等及び水準の維持向上
に関する意見書



教育に力を入れている昭和町・常永小学校

鷹野一雄議員から所定の賛成議員とともに提出され、本会議で全会一致で採択され、関係大臣あて提出しました。

(要旨)

国は、「三位一体」改革の議論の中で、義務教育費国庫負担制度の見直し論を強調しています。この制度は、子どもの教

育を受ける権利を保障し、教育水準を保つため、教員のみならず、学校事務職員や学校栄養職員が協力し合って達成されることを、財政上保障し、地方公共団体の財政能力によつて格差が生じないよう法制化されたものです。税源移譲されれば問題ないとの指摘があります

が、多くの県では財源が確保できずに、各市町村財政に影響を与え、教育の機会均等、教育水準の維持が困難になることは明らかです。

また、学校運営を支えている学校事務職員・学校栄養職員を国庫負担の対象外とすることは、義務教育制度の根幹にふれるものです。

見直し論は、地方と国との相互信頼関係を根底から覆す重大な要因を含んでいます。

よつて、義務教育の国庫負担制度の現状水準を維持・発展させるために義務教育費国庫負担制度の堅持を強く要望する。

以上、地方自治法第十九条の規定により意見書を提出する。

平成十七年六月十七日

昭和町議会議長

石原重夫

提出先

文部科学大臣

中山成彬殿

財務大臣

谷垣禎一殿

総務大臣

麻生太郎殿

請 願

継続審査

介護保険制度の見直しの改正にあたり「改善」を求める請願書

介護保険改悪反対やまなしネット(代表・上所洋)から提出され、(紹介議員・深澤平助議員)教育厚生常任委員会に付託されましたが、国会で可決後、市町村に義務づけがあると思われるので状況を見守るため、継続審査となりました。

【請願趣旨】

介護保険制度は平成十二年四月発足以来、間もなく五年を経過し必要の見直しの措置が講ぜられることとなっています。

今年二月八日に介護保険法の一部を改正する法律案が、国会に上程されました。

その法案によると施設入所者の居住費や食事等は、施設介護サービスの対象にしないことや、要

支援や要介護1などの軽介護者を対象に新たな介護予防サービスを創設するとしています。こうした見直しで必要な介護サービスが受けられなくなるのではないかとという高齢者の不安も高まっています。

議会において十分ご審議をいただき、国の関係機関に意見書を提出していただけますようにお願いいたします。

請願事項

一、特別養護老人ホーム等の施設入所者の居住費や食費等は、施設介護サービス費として大幅な自己負担を導入しないこと。

二、要支援や要介護1などの軽介護者を、現行の介護保険サービスの給付対象から除外しないこと。

委員会 れぽ〜と

水源対策 特別委員会

委員長 河田 あけみ
水源対策特別委員会は、平成十七年六月十三日午前十一時に開会し、産業課長から井戸掘削報告二件、平成十七年度上水道管の布設工事の報告を受けました。

その他の問題は、継続審査と決しました。

地方分権 対策 特別委員会

委員長 井上 仲千
地方分権対策特別委員会は、平成十七年六月十四日午前十時十五分に開会し、政策法制課長から第二次昭和町行財政改革大綱、第二次行財政改革の優先的に取り組む改革項目、第二次行財政改革について審議報告等を受けました。

その他の問題は、継続審査と決しました。

教育厚生 常任委員会

委員長 三井 猛
平成十七年六月十五日、午前九時三十分の開会し、当委員会に総務常任委員長から審査依頼された昭和町一般会計補正予算（第一号）の中で当委員会に關係する部門について審

査し、原案どおり可決しました。

また、介護保険制度の見直しの改正にあたり「改善」を求める請願は継続審査とし、義務教育費国庫負担制度を堅持し、教育の機会均等及び水準の維持向上に関する請願は採択としました。

その他の問題は、継続審査と決しました。

おもな質疑

問 仮称、清水新居児童センターの竣工はいつごろか。

答 平成十八年四月開館



給食センター

を予定。

問 小学校区の見直しは、子供クラブ等の問題で見合わせた。

その他、仮称、清水新居児童センターの建設、西条小学校職員室の改修工事、給食に関する質疑がありました。

産業土木 常任委員会

委員長 志村 茂
平成十七年六月十五日、午後一時三十分の開会し、総務常任委員長から審査依頼された昭和町一般会計補正予算（第一号）の中で当委員会に關係する部門について審査し原案どおり可決しました。

その他の問題は、継続審査と決しました。

おもな質疑

問 区画整理の認可はいつごろか。

答 平成十八年二月の認可を目標にしている。

問 昭和町を考える会は

どうなっているのか。

答 都市計画中心から農政と都市計画を融合して新たなまちづくりをしていく組織の立ちあげを検討している。

問 区画整理の中の移転戸数と補償額はどのくらいか。

答 約四十戸でおおよそ十九億円を予定している。

問 スーパー街区への誘致企業は。

答 第一交渉権をダイヤモンドシティー、第二交渉権をイオンとして検討しています。

その他、仮称、押原公園整備の質疑がありました。

総務 常任委員会

委員長 鷹野 一雄
平成十七年六月十六日、午前九時に開会し、当委員会に付託された昭和町税条例改正、昭和町監査委員条例改正の件と昭和町一般会計補正予算（第

一号）について審査し原案どおり可決しました。

その他の問題は、継続審査と決しました。

おもな質疑

問 職員の消防活動の対応について、地域自主防にも支障なく、また、職員としても支障のないよう検討していただきたい。

答 職員については、役場での対応を主にしたい。

問 復興に対する燃料の貯蔵調査の予定は。

答 効率のよい調査を検討していきたい。

問 避難場所の選定について。

答 避難場所については、細部について検討し選考していきたい。

問 法定外公共物の使用料徴収は。

答 行財政改革の中で検討していく。

その他、入札関係、住民税についての質疑がありました。

町政を問う ここが聞きたい!

問 私の中学時代を思い出すと、情熱と責任感を持った先生方が多く、地域も教育熱心であり、行政も積極的に教育に投資し、県下の良い先生が昭和町に集まり、その結果児童生徒は学習、体育両面で優れた成果を挙げました。これが当時の昭和町教育であり、押原教育だったと思います。

新教育長としての、新たな昭和町教育の基本理念と方針を伺います。

教育長 歴史と伝統ある押原教育の継承と、新しい昭和町教育の創造と実践です。

具体的には、家庭・地域・行政・児童生徒・学



鷹野 一雄 議員

Q

昭和町教育(押原教育)の
理念を示せ

A

五つのキーワードと
「知・徳・体・志」

校が連携して、「一に安全、二に健康、三に学力、四に信頼、五に参加」をキーワードに、燃える教師と児童・生徒が一体と

なって、「知・徳・体」、それに「志」が備わった人間教育が昭和町教育の基本理念です。



勉強にも精出せよ！オーー！

Q

「確かな学力」向上とは

A

多様な「学力」を考えたい

問 国際調査でも明らかに、国際調査でも明らかになった子どもの学力低下、「心配」と答えた人が七六%もいます。国も学習指導要領を見直し、総合学習の見直し、授業時間の復活が議論されています。教育委員会として、学力低下に対する不安感にどう応えていきますか。

教育長 昔の「学力」は知識と技能、体力でしたが、今の子どもたちはその他にもパソコン操作とか、インターネット学習、読書の習慣、国際交流と

理解など、大人顔負けの多様な学力を身につけています。マスメディアがこぞって学力低下を吹聴するので、日本中の子どもが学力が低下したように思っている人が多く、じっくり考えてみる必要があると思います。

学力低下の不安に対しては、「昭和町教育」の着実な実践で、多様で豊かな学力を身につけた子どもの姿を通して、父母の信頼を強めていくことが、一番の方策と信じています。

Q

学校評議員制度の現状は

A

年間十数回学校行事参観も

問 昭和町は平成十四年に県下に先駆けて学校評議員を設置しました。

学校評議員設置要綱に「報告」と「情報公開」

が定めてありますが、今日までの状況を伺います。地域と学校が双方向で協議できる体制が望ましいが、学校評議員のあり方

一般質問

用語解説

■学校評議員制度

平成十二年一月の学校教育法施行規則の改正により、地域住民の学校運営への参画の仕組みを制度的に位置づけるものとして、学校評議員制度が導入され、平成十二年四月から実施されています。

昭和町では、平成十五年度から毎年学校評議員を委嘱していますが、学校評議員制度とはどういう制度か、その概要をまとめてみました。

○学校評議員とは

学校評議員は、保護者や地域の方々の意見を幅広く校長が聞くためのもので、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開することができます。



についてどう考えていますか。

教育長 学校評議員は、学校外の意見を校長が聞くためのものです。地域と一体となった特色ある教育活動や、子どもたちの個性に応じたきめ細かい指導が大切なため、この制度を導入しました。平成十五年度から毎年学校評議員を委嘱し、年間

保護者や地域の意向の把握・反映

保護者や地域からの協力学校としての説明責任（地域の公の教育機関としての経営責任）を明確にする

○学校評議員により学校はどう変わっていくのか

学校・家庭・地域が連携し、よりよい教育の実現を目指すとともに、学校の自主性・自立性を高め、校長が地域の声をさらに一層把握しながら、適正に学校運営を行うことを支援していくものです。

＊特色ある学校づくり

校長が、保護者や地域住民の意見や意向を聞いて、教育方針や教育計画を自ら決定し、地域に信頼される学校経営を行い、特色ある学校づくりを進めていくことができます。

＊「総合的な学習の時間」等への支援

体験的な学習や問題解決的な学習が重視されており、このもとに、生徒に「生きる力」を育み、健やかな成長を促すためには、地域と一体となった特色ある教育活動や、生徒ひとり一人の個性に応じた、きめ細かな指導が大切です。

地域の人々や学習環境を積極的に活用するなど、家庭や地域の方々の協力が必要となります。

これにより、

▼地域ぐるみによる生徒の育成

▼ボランティア体験活動

▼新しい教育内容の創造

（学社融合）

等を図っていきこうとするものです。

Q

学校の安全対策は

A

全校で安全対策は 取り組んでいる

問 学童や教職員が侵入

者に殺傷される事件が続発し、全国的に学校の安全対策が強化されています。東京都渋谷区や大阪府では学校に警備員の常駐、三重県香良洲町は校内無線システムの設置、東京都武蔵野市では市内全小中学校に防犯カメラの設置、また侵入者を捕獲する「サスマタ」の常備などの取り組みが広がっています。教育委員会は安全対策の対応をどう考えていますか。

教育長 寝屋川市の事件を受け、町内各校に学校の安全管理の再確認を指示、警備態勢の状況、不審者対応マニュアルなどの確認をしました。各小中学校では出入りできる門を指定し、常に閉門しておき、来校者にはそのつど開閉してもらい、防犯カメラの確認、とつさの時利用できる防犯用具と

して棒・消火器・拡声器・殺虫剤の配備を指示しました。児童全員に防犯ブザーを携帯させ、使い方の指導もしています。校内内外の巡視、地域のいきがいクラブや保護者による、登下校時の防犯パトロールもしていただいております。

不審者侵入対策といったしまして、今まで校内緊急放送が各クラスからできなかつた小学校につきましては、補正予算がつきしだい改修予定です。また、小・中学校一、六〇〇人の児童生徒の安全を図り、校内での突然の心停止の事例を受けて、県下に先駆けて、救急車到着までに電気ショックで蘇生処置のできる装置（緊急児童体外式除細動器）を中学校の保健室に設置しました。各小学校にも導入の予定で、補正予算を計上していただきました。



一斉放送が可能となった校内緊急放送システム

町政を問う ここが聞きたい!

問 「新しい歴史教科書を作る会」が作った歴史教科書が文部科学省の検定で採択されました。この教科書は、かつて日本が行った侵略戦争を賛美し、アジアの植民地支配を正当化するもので、教科書としてふさわしくないことを明確にして下さい。

教育長 主たる教材集としての教科書の採用は、法に基づき文部科学大臣が検定合格としたものの中から、「教科用図書採択協議会」で採択されてはじめて、その学校で使われる教科書となり、「教育課程」による学習指導



深澤 平助 議員

Q

戦争賛美の歴史教科書は
使用しないと表明を

A

決定は採択協議会の権限

展開に用いることになり
ます。特定の会社名を名
指して適否の判断を述
べることは、採択協議会
の権限にも触れることにな
るので、答弁は控えさ
せていただきます。



今日も熱心に勉強中

(再質問)
問 「つくる会」の教科書は、日本の戦争のスタートとなった昭和六年の「満州事変」についても、すべて現地の関東軍の責任として、日本政府の責任は免罪しています。また日中戦争についても、開戦の責任は両方にあるとしています。これでは歴史の事実を正しく教えることはできません。

教科書としては不相当であり、この四年間、県内でも、全国の公立中学校五四二採択地区のうち、一つも採択されていません。こういう点も考えて答弁をお願いします。

教育長 一、法に基づいて検定に合格した教科書は、等しく採択の対象になるのは当然です。

二、採択の権限は採択協議会にあり、私が特定の教科書の適否に言及することは、採択協議会の権限を侵すことになるので、答弁は控えたと思います。私もその教科書だけでなく、他の資料も精読して勉強していますが、採否についての意見を言うことはできません。

6月議会の会期日程

第一日目

六月十三日(月)

議員協議会

▼開会

・本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸報告

・議案の日程、質疑、各委員会付託

・水源対策特別委員会

第二日目

六月十四日(火)

・本会議 一般質問

・地方分権対策特別委員会

・追加議案審議

・委員長報告

・質疑、討論、採決

第三日目

六月十五日(水)

教育厚生常任委員会

産業土木常任委員会

第四日目

六月十六日(木)

総務常任委員会

第五日目

六月十七日(金)

議会運営委員会

議員協議会

・本会議

・追加議案審議

・委員長報告

・質疑、討論、採決

▼閉会



一般質問

Q

不妊治療への理解と助成を

A

町内の状況を調査して検討したい



河田あけみ 議員

問 最近の調査では、十組に一組の夫婦が不妊に悩んでいます。不妊治療は多額の費用がかかり、体外受精に保険の適用もありません。精神的、肉体的負担が大きく、女性の高齢化とともに可能性は低くなります。

国も昨年四月から不妊治療に助成制度を作りましたが、一年間十万円限度で二年間と低く、対象は体外受精と顕微授精だけで、夫婦合算で所得制限が六五〇万円というところにより、対象外となり、あきらめてしまう例も多いのです。少子化対策としても、町として何らかの助成を検討すべきだと

思いですが、町長の考えを伺います。

町長 少子化は深刻な問題です。出生率の低下の原因は、晩婚や未婚の傾向、子供を育てやすい環境の実感がもてない社会的背景があります。

不妊治療の経済的負担が多いことも聞いており、国の助成制度に山梨県でも十六年度は一三〇人の申請があつたそうです。

町としての助成対策ですが、現在は町内の不妊治療の状況も把握しておらず、治療の助成を求める声も聞いていません。今後町内の実態を調査し、次世代育成推進協議会の中でも協議していただき、子育て支援施策の中で検討したいと思います。

(関連質問)

鷹野一雄議員 次世代育成推進協議会は、今年度から実施計画に入りますが、不妊治療に対する支

援は、ぜひ計画の中で具体的な方向性を示してほしいと思います。昭和町は若い世代が集まる地域です。十組に一組が不妊に悩んでいる現実を捉えて、前向きに対応してい

ただきたいと思います。いきいき健康課長 次世代育成対策推進協議会の協議の中に、不妊治療のことも取り入れていきたいと思っています。



昭和町の将来を担う子どもたち

編集雑感

今回の議会広報は、五月の臨時会、六月の定例会を編集しました。

五月の臨時会では、新たに役員改選された十六人の初議会が緊張の中開催され、正副議長の選任及び議会役職構成が決まりました。

今回の議会広報は新広報編集特別委員会として初めての発行となりましたが、これからも皆様に親しまれるよう委員一同なお一層努力しますので、よろしくお願い申し上げます。

次回の議会は、九月上旬を予定していますので、傍聴を予定されている方は、議会事務局までお問い合わせください。

▼議会事務局

二七五―二二―
(内線二七〇)

県町村議会 議長会関係

1月

- ・ 正副議長・事務局長
研修会及び新年互礼
会

2月

- ・ 監査委員研修会
- ・ 議会広報研修会
- ・ 議長会第四回理事会・
臨時総会
- ・ 公務災害補償等組合
議会定例会

4月

- ・ 市町村長・議長会議

5月

- ・ 監査委員協議会定期
総会
- ・ 議長会定期総会
- ・ 議長会研修会
- ・ 議長会研修会
(東京都)
- ・ 正副議長・委員長研
修会

6月

- ・ 分権改革日本実現全
国大会(東京都)
- ・ 議会広報功労者表彰・
定期総会
- ・ 議会運営委員長打合
せ会
- ・ 議会運営委員長連絡
協議会

その他

1月

- ・ 新年互礼会
- ・ 第五十八回昭和町成
人式
- ・ 昭和町消防団出初式
- ・ 公開講座・シンポジ
ウム
- ・ 区長会夫婦懇話会
- ・ 環境保健委員新年会
- ・ 広報編集委員会
- ・ 第二十一回昭和町を
考える会
- ・ 地方分権対策特別委
員会
- ・ ホタル放流式
- ・ リゾート昭和運営委
員会
- ・ 学校給食運営委員会
- ・ 次世代育成支援地域
協議会
- ・ 委員会合同研修
(愛知県大口町)
- ・ 昭和町消防団新年会
- ・ 障害者福祉会新年会
- ・ 都市計画審議会
- ・ 商工業振興協議会
- ・ 保育園保護者連合会
- ・ 新年互礼会
- ・ 国民体育大会冬季ス
ケート大会

2月

- ・ 昭和フェスティバル
2005
- ・ 議運・広報編集委員
会合同研修
(埼玉県宮代町)
- ・ 地方分権時代のまち

3月

- ・ 国保運営委員会
- ・ 共に生き生き輝け昭
和フォーラム200
5
- ・ 文化協会野外研修
- ・ 押原小学校卒業式

議会のうごき



海の家保養所施設訪問(静岡県相良町)

- ・ づくり研修会
- ・ 第二十二回昭和町を
考える会
- ・ ふるさとづくり推進
委員会
- ・ 環境審議会
- ・ 環境パトロール

- ・ 行財政改革審議会
- ・ 図書館運営委員会
- ・ 昭和町社会体育施設
運営委員会
- ・ 第二十三回昭和町を
考える会
- ・ 第四回生きがい大学

4月

- 講座
- ・ 下水道審議会
- ・ 昭和、押原、上河東
常永、富士桜保育園
卒園式
- ・ 次世代育成支援対策
地域協議会

- ・ 昭和町消防団入退団
式
- ・ 上河東、常永保育園
・ 押原、昭和、富士桜
学園入園式
- ・ 今川ふれあい祭り
- ・ 西条、押原、常永小
学校入学式
- ・ 押原中学校入学式
- ・ 母子愛育会定期総会
- ・ 新区長・退職区長歓
送迎会
- ・ 都市計画審議会
- ・ 障害者福祉会定期総
会
- ・ みらいファーム竣工
式
- ・ 新旧土木委員歓送迎
会
- ・ 昭和町体育協会総会
- ・ 環境保健委員歓送迎
会
- ・ 農業委員会お別れ会
- ・ 押原小学校PTA総
会
- ・ 東部農協通常総代会

5月

- ・ 行財政改革審議会
- ・ 常永、西条小学校P
TA総会
- ・ 押原中学校PTA総
会
- ・ 昭保連定期総会
- ・ 春の球技大会
- ・ 文化協会定期総会
- ・ 峡中地区都江堰市友
好協議会総会
- ・ 農業委員会委員歓送
迎会
- ・ 南甲府警察署友の会
定期総会、平成十七
年度定期総会
- ・ いきがい大学講座、
いきがいクラブ十七
年度総会
- ・ 昭和町商工会通常総
代会
- ・ 地方分権のまちづく
り研修会
- ・ 中巨摩東部シルバー
人材センター通常総
会
- ・ 青少年育成昭和町民
会議定期総会

6月

- ・ 子どもクラブ定期総
会
- ・ 昭和町防災会議
- ・ ホタル鑑賞会
- ・ 下水道審議会